

東京医科歯科大学 献体の会会報

# けんたい

第46号

発行／東京医科歯科大学 献体の会

〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45 03-5803-5147

国立大学法人 東京医科歯科大学医学部臨床解剖学分野内



アカシアの茂みを行くマサイキリン

撮影 北島 潤一郎

## 目次

ご挨拶

東京医科歯科大学医学部附属病院長

内田 信一

3

東京医科歯科大学歯学部部長

依田 哲也

2

《東京医科歯科大学関係行事》

解剖体御遺骨返還式及び感謝状贈呈式

挨拶 東京医科歯科大学学長 吉澤 靖之

7

挨拶 献体の会会長 佐藤 達夫

6

感謝の言葉 学生代表 山崎 珠璃

8

東京医科歯科大学篤志献体活動の報告会

ならびに東京医科歯科大学献体の会総会

令和二年度解剖体追悼式

追悼の辞 東京医科歯科大学学長 田中雄二郎

11

追悼の辞 東京医科歯科大学同窓会長 浅野 正樹

10

追悼の言葉 学生代表 神田 航汰

12

《篤志解剖全国連合会関係行事》

第四十四回篤志解剖全国連合会団体部会・大学部会合同研修会

ならびに第五十回篤志解剖全国連合会総会

13

《会員寄稿》

【随筆】

カルタを作ってみました

中村 和子

13

健体を献体〜新型コロナに罹らない〜

吉本 亮三

15

両親にならって

内田 典子

16

癌転移

長谷 久枝

17

健康保持に向けてー十二のSー

佐藤 典衛

18

献体に関する私の意見

松本麻理子

20

【詩】

健康保持に向けてー十二のSー

床嶋 まち

20

【短歌】

真柄百合子 山口みどり

津田 典男

21

【俳句】

《クロスワードパズル》

國廣 慶子

21

《東京医科歯科大学献体の会会則》

東京医科歯科大学献体の会役員

23

《東京医科歯科大学からのお知らせ》

《会員の「ご家族へのお願ひ」》

25

《会報作成にあたって》

《会報作成にあたって》

26

《会報作成にあたって》

《会報作成にあたって》

27



## 《ご挨拶》



東京医科歯科大学

医学部附属病院長

内田 信一

二〇二〇年四月一日より医学部附属病院長を務めております内田信一と申します。

献体の会の会員の皆様におかれましては、平素より医学教育および研究に対して深遠なる御理解と御協力を賜り、心より御礼申し上げます。

私は、今年度より医学部附属病院長を拝命しております。前大川病院長のもと、四年間ほど副病院長を務め、医療安全を中心に担当しておりました。もともとは内科、特に腎臓の領域を専門としており、慢性腎臓病、血液透析、高血圧等の診療・研究・教育を行っております。

ご存知のように四月の就任前から新型コロナウイルス感染症が日本でも拡大し、院長就任前から院内の新型コロナウイルス対策会議の議長として対応に当たってまいりました。当時、ヨーロッパやニューヨークでは急速な感染拡大が起り、医科歯科大学附属病院では、学長の指揮の下、最悪の事態に備えることをまず最優先課題として体制を整備し、病院のみならず、大学全体が病院を支えるという体制をとりました。そしてその後の新型コロナウイルス患者さんの国内での増加に伴って、予定の手術やコロナ以外の救急患者さんの受け入れを停止し、通常の入院・外来診療の縮小を余儀なくされました。未経験のウイルスという事もあり、我々医療従事者も不安を抱えながら手探りで診療を行いつつ、毎朝会議を重ねて、日々最善の方策を見いだす作業を、この原稿を書かせていただいている現在まで約四ヶ月間続けてまいり

ました。幸い、第一波は乗り切ったと言う状況ですが、現在も東京都では三十〜四十人毎日感染者が出ており、予断を許さない状況です。その間、一人の院内感染者も出さずにここまで来れたことに院長として安堵しております。防護服を着て直接患者さんに接する職員の苦勞も大きなものがありました。それ以外にも当初想定もしていなかった多くの仕事が必要になりました。例えば清掃業者が感染を心配して病棟の清掃業務を受けてくれなくなり、医師や看護師や事務職員が協力して清掃を行うなど、本当に体制を整備するまでには、いろいろな問題がこれでもかと言うほど毎日山積し、私自身も心が折れそうな時もありましたが、何とか切り抜けられたのは、職員の皆さんが大きな不満を言わずに、まさに医療者としての矜持を貫いてくれたおかげだと思っております。そしてこういった外圧にさらされることで、院内が職種・職位をこえて一つになれた事は、今後の医学部附属病院にとっても、大きな財産になったのではと思っております。

このような状況下で、医学生・歯学生の授業や実習もストップしました。しかしながら、人体解剖学実習だけは、制限のある中でも実施されたと伺っております。自らの四十年前の学生時代を思い起こすと、やはり記憶にすり込まれているのは人体解剖学実習であります。当時は入学後二年間を市川の教養部で過ごしていき、自分が医学部に入学したという実感もなく時間が過ぎていくわけですが、この解剖実習が、医師を志した事の意味を初めて突きつけられる場となったと思います。まずご遺体を目の当たりにすることで、当時それまではほとんど考えてもいなかった「死」についてはじめて現実的なものとして考えることになったと記憶しています。そして、こういったご遺体を「献体」していただいたご遺志とはいかなるものだったのか？ に思いをはせたいと思います。実際の解剖実習では、学ぶべき事が多すぎて、その日一旦始まれば実習自体に没頭するわけですが、実習の始まりと終わりには、感謝の気持ちから、自然と心の中でご遺体に話しかけさ



せていただいたように思います。医学生は、この人体解剖学実習のち、いろいろな病気について座学で学んだあとに、実際の患者様と接して臨床実習を行うわけですが、特に外科の手術に際しては、この人体解剖学実習で修得した成果が直にかされる場面であったように思います。やはり目で実際に見て、また手で触らせていただいで学んだことは、最近どんなにIT技術が発展しても、ご遺体から学生が授かる精神面の薫陶も考えれば、今後も人体解剖学実習にまさる学習の機会はありませんかと思えます。献体の会の皆様の尊いお志に、改めて深くこの場を借りて御礼申し上げます。

さいごに、皆様におかれましては、まだまだ新型コロナウイルス感染症が今後どうなるかわからない部分も多い現状ですので、益々ご健康に留意されますようお願い申し上げます。皆様方の末永いご多幸をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

《ご挨拶》



東京医科歯科大学  
歯学部長 依田 哲也

令和二年四月より東京医科歯科大学歯学部長および大学院医歯学総合研究科長を拝命いたしました依田哲也でございます。

献体の会会員の皆様におかれましては、平素より本学の教育ならびに研究に対して多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

私は大学院生時代には口腔解剖学の教室で研究させていただきました。ともあり、学部学生の解剖実習指導の補助もさせていただきました。また、以前勤務していた大学では夏の選択実習として臨床解剖実習も担当したこともありました。

現在は歯科医師として歯学部附属病院で口腔外科の臨床にも携わっております。口腔外科では歯科医療として、例えば口腔がんの患者さんの首のリンパ節を切除する治療や、気管切開をして気道を確保する治療をいたします。また、顎の骨の病気を切除した際などは、足の骨を移植しますし、唇顎口蓋裂の患者さんの上顎の欠損部には腰の骨(腸骨)の骨髄を採取して移植もします。当然、このような手術に際しては解剖学の知識は不可欠です。医師のみならず歯科医師にとっても、全身の人体解剖を学ぶことは非常に重要なことなのです。

また、昨今は外科手術を習得するために、ご遺体による研修・キャダバー・サージカル研修が推奨されるようになり、私も口腔外科学会主催のキャダバー・サージカル研修で何度か指導を担当させていただきました。さらに、昨年五月には、日本で初めて導入する顎関節の全置換

人工関節手術のキャダバーサージカル研修を、ドイツのデュツセルドルフで受講してまいりました。日本でのキャダバーサージカル研修は大学の解剖学実習設備をお借りして行っているのですが、ドイツでは専用の施設があるのは驚きでした。大学を卒業してからも個人的にはご献体には大変お世話になっています。外科医にとっては一生涯のことだと思えます。

この様に、ある程度臨床を経験してから行う解剖実習（研修）の重要性が認識されるようになってきています。貴重なご献体ですから、少しでも有意義に活用させていただくべきです。そのため、学生教育の解剖実習においても、現在のような医学教育の初期段階の二年生で行うよりも、臨床系を学習した後の五年生時等に施行した方が、より意義のある実習になるのではないかと考えも示されるようになりました。その代わり、二年生では三次元画像によるバーチャル研修で、人体解剖の知識を習得しようというものです。

昨今の新型コロナウイルス感染で、本学でも四、五月は全て遠隔授業となり、実習は六月から開始となりました。このような環境下で、バーチャル実習の導入は追い風となっています。ただし、バーチャル研修で知識は身につくかもしれませんが、医療人を目指す学生にとっての解剖実習は、それとは別の次元の意義があると思います。昨年の解剖体御遺骨返還式の学生代表の言葉です。解剖実習を終えて、人体の構造を学べたことはもちろんのこと、何よりも実習を通して精神的な成長を得ることができたと感謝を述べておりました。解剖はただ組織を分解するだけではありません。ご献体なされた方の人生を紐解く作業だと思えます。人間の尊厳に触れ、改めて命の尊さを実感し、ご献体と対話することで、医療人としての人生を歩み始めたという覚悟を学生自らが感じ取れる崇高な時間です。本年は前述の様に新型コロナウイルス感染対策の影響で、例年よりも短い解剖実習となりましたが、その様な中であっても、例年同様の成果を得られ、医療人として大きく成

長してくれていることを期待しています。

最後になりましたが、献体をされた方々の崇高なご意思に敬意を表すとともに、ご遺族の方々のご尽力に感謝しつつ、末永いご多幸をお祈り申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。



《東京医科歯科大学関係行事》

解剖体御遺骨返還式及び感謝状贈呈式

令和二年二月十四日（金）午後二時より、東京医科歯科大学M&Dタワー二階の鈴木章夫記念講堂において、大学からは学長、役員、教職員の二十名、医学部医学科二年生、歯学部歯学科二年生が出席し、会場にはご遺族などを合わせて約三五〇名が参列して、第三十六回東京医科歯科大学解剖体御遺骨返還式及び感謝状贈呈式が執り行われました。

定刻になると、それまで聞こえていた人々の出入りの物音や話声がすっと消え、無音の中、真白な三列の祭壇に並べられた幾多の御骨箱が照らし出されました。それぞれ



ご遺骨返還の様子

それぞれの御骨箱は純白の風呂敷に包まれ、その姿は凛々しくも清らかでした。この厳かな空気の中、開会が告げられ、参列者全員により、この一年間に成願された一〇四柱の御主に黙祷を捧げました。次いで、吉澤靖之学長の挨拶の後、御遺骨の返還が礼法に則って粛々と行われました。まず、献体成願者のお名前が読み上げられると、礼服白手袋の学生が二人一組となってお名前の札のある

御骨箱の前に進み一礼し、一方はお名前の札を黒角盆に取り、他方が御骨箱を両手で受けます。次に、この二人が舞台中央に下がって右手を向くと、そちらから、ご遺族のお使いを務める礼服白手袋の教職員が歩み寄り、お互いの礼の後、参列者全員が見守る中で御骨箱の受け渡しが行われます。それからお名前札を掲げる学生を先頭に、三人目の学生が傍らで高く手を掲げて示すご遺族のお席へと真っ直ぐに進んでいきます。そして、ご遺族の手に直接、お名前札と御骨箱を渡します。このようにして、祭壇の全ての御骨箱が帰るべきご遺族の元へと到着したことを皆が見届けると、会場には安堵の思いが満ちて、張り詰めた空気が緩むのが感じられました。

続いて、学生代表の医学部医学科二年生、山崎珠璃からの感謝の言葉と、佐藤達夫献体の会会

長の挨拶がありました。引き続き、文部科学大臣感謝状贈呈式が行われ、学長の感謝状読み上げの後、五十柱のご遺族お一人一人に感謝状が手渡されました。結びに、解剖学教員を代表して柴田俊一教授からご遺族の方々にお礼の挨拶があり、御遺骨返還式及び感謝状贈呈式は滞りなく終了しました。



解剖学教員を代表して柴田教授よりお礼の挨拶





ご遺骨返還式での学長挨拶

医学生・歯学生が専門課程に進み、ヒトのからだに直接接する最初の経験が、人体解剖学実習であります。ご遺体

さて、今日の医学・歯学の進歩は目覚しく、様々な領域で新しい知見が集積し、その上テクノロジーの進歩と相俟って、新しい医療技術が開発され、人々の健康と社会の福祉に大きく寄与してまいりました。しかし一方では、ヒトの生命そのものに携わる医療人には、今まで以上に社会的責任や医療倫理が問われております。

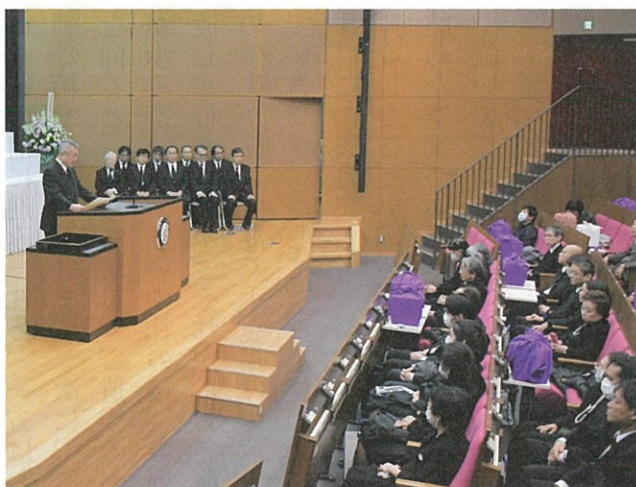
今日は本学のより良き医療人、知と癒しの匠育成の為に、ご献体くださいました方々のご遺骨返還式を執り行うにあたり、大学を代表して御礼を申し上げたいと思います。まずご遺族の皆様には、お忙しい中お越し頂き、心より感謝申し上げます。



## ご挨拶

東京医科歯科大学

学長 吉澤 靖之



学長による感謝状の読み上げ

寛容に深く感謝の念と敬意を捧げる次第であります。私ども医学・歯学教育に携わるものならびに学生たちは皆様のこの尊いお気持ちをお礼に深く胸に刻み込んでまいります。ここに医学・歯学の教育・研究・臨床の発展のために一層の精進を重ねることをお誓いするとともに、ご献体下さいました方々のご冥福をお祈りしつつ、深甚なる感謝を込めて私の挨拶とさせていただきます。

を通して人体の構造や機能の基礎を学びつつ、生命とは何かに思いを馳せ、その神秘性と尊厳に触れることとなります。まず学生は戸惑い、畏れを感じるようになりますが、やがて奇跡とも思えるその精緻な人体の構造を知るにつれ、これまで経験したこともない生命に畏敬の念を抱くこととなります。同時に、死後に自らの御身体を医学・歯学の発展のためにささげるといふ、献体という行為が如何に崇高なものであるかを感じ理解することとなります。そして、そのことに心から感謝しつつ、医療人としての教養と感性を研ぎ澄ましてまいります。医学の進歩とともに、医の倫理・生命倫理が強く叫ばれておりますが、解剖学実習に献じられたご遺体は、無言のうちに「医の倫理とは何たるか」を学生に語りかけて下さっているものであります。人生の最後に当り、本人の献体という崇高なご遺志を尊重し、今日まで、ご遺体を私どもに委ねて下さいましたご遺族の皆様のご寛大さと



## ご挨拶



東京医科歯科大学献体の会会長

佐藤 達夫

本日はご遺族の皆様、お忙しいところご足労いただきまして、恐縮に存じます。心から御礼申しあげます。

私は二〇〇三年までこの大学に解剖学の教員として勤めておりましたが、二〇〇九年より献体の会の会長となりましたので献体の登録者と教員の両方の立場からお話申し上げたいと存じます。

先ほど献体なされた方々のご遺骨が最愛のご遺族にお返しされました。私ども安心しておるところでございます。献体の特徴の一つとして、お預かりしたご遺体をお返しするまでに時間がかかることがあげられます。解剖学実習は単なる腑分けではありません。人体のすべての部位について一層一層少しずつ丹念に開き、綿密な観察を行いますので、大分お待ちいただくこととなります。ご遺骨なしでは種々の故人を偲ぶ行事も行いがたいのももちろんであります。ご遺族の方々は心細い思いをなさったことと思います。学生と教員を信頼して、本日までお待ちいただきましたことに敬意を表し、心から感謝申し上げます。

さて、解剖学実習に入る前と終わった後では、学生の顔付きが変わっている、よく言われるところであります。学生は将来、医師または歯科医師となつて、人間を診療することになりますから、人体の構造に通じていなければなりません。

そのためにこそ解剖学実習を行うのですが、人体の構造は初めに考

えていたよりもずっと複雑であり、学生は翻弄されがちであります。しかし、慣れるに従い、学生の観察眼も緻密になり、複雑な構造を自分なりに整理して理解を深めて行きます。このようなプロセスを経て観察眼が鍛えられて、患者さんの体の微妙な変化を科学的にとらえる能力が育つて行くのです。実習終了後の学生の顔は引き締まり、目が鋭くなったように感じられます。それと同時にこのような一生に一度の機会を与えてくださったご遺体感謝の念がわいてきます。とりわけ、生前の遺志に基づいた献体であることを知って受けるインパクトは実に大きなものがあります。実習終了後の学生の視線は鋭い。しかし、まなざしは柔和であります。

献体が他のボランティア行為と著しく異なるところは、自分の死後

にはじめて実行されるということです。したがって自分だけの力では完結しない。ご遺族の理解と協力があつて初めて可能なのです。本日もご参集されたご遺族の皆様、最愛の肉親が亡くなった悲しみの中で、ご本人のご希望を叶えてくださいます。たやさしいお心に心から敬意と感謝を表する次第であります。

本日は、ご遺骨返還式にご出席いただきまして、誠に有難うござい



解剖学教室教員からご遺族へ感謝状贈呈



## 感謝の言葉



東京医科歯科大学 学生代表

医学部医学科 第二学年 山崎 珠璃

本日、ご遺骨返還式にあたり、東京医科歯科大学の学生を代表し、ご献体くださいました故人の皆様、ならびにご遺族の皆様にご感謝申し上げます。

私が大切にしている言葉の一つに、「Noblesse Oblige」という言葉があります。直訳すると「高貴なるものの義務」という意味ですが、私はこの言葉を「与えられたチャンスを真摯に受け止め、受けた恩恵を自分ではない誰かのために還元し、社会に循環させる義務」であると教えられました。人体解剖学実習は、私たちにとってまさにこの、「与えられたチャンス」でした。

一年間の教養課程を修了し、基礎医学を学び始めた私たち学生にとって、この実習は本物のひとのからだに触れる初めての实習でした。実習初日、緊張した面持ちの同級生、ひんやりとした空気、そして整然と並べられた実習台を見て、いよいよ始まるのだな、と身の引き締まる思いがしたのを覚えています。

毎回の実習前、黙祷を捧げました。一分間。実習室が静寂に包まれるその時間は、ご遺体とそして自分と向き合う時間でした。今日ほどこについて学ばせていただくのかご遺体に報告し、自分が解剖するに値するほど学習をしたのか顧み、この貴重な機会を与えてくださったことへの感謝を述べました。そして、この実習からできるだけ多くのことを学びたい、献体してくださった方々の期待に応えたい、という使命感を強く感じました。

初めて見るひとのからだの中は、驚くほど複雑で、それでいて整然としていて、なにより美しいものでした。自分の手で解剖することを通して、様々な発見と学びがありました。様々な構造のつながりが見え、ひとりひとりのからだの違いを改めて認識しました。

今、人体解剖実習を終えて、将来医療のプロフェッショナルとして社会に貢献していく覚悟と自覚を深めました。このすばらしい経験が、献体してくださった方の崇高な意志とご遺族の皆様方のご理解ご協力によって成り立つことをこの胸に刻み込みました。私たちが受けた恩恵を、いつか皆様に還元することができるよう、これから一層邁進していきますことを、ここにお誓いいたします。そして、本日ようやく皆様の大切なご家族の皆様のもとにお返しできることをうれしく思います。

終わりに、故人の方々のご冥福を心よりお祈り申し上げるとともに、ご遺族の皆様方に心より御礼申し上げ、感謝の言葉とさせていただきます。

東京医科歯科大学篤志献体活動の報告会ならびに  
東京医科歯科大学献体の会総会

新型コロナウイルス (COVID-19) の感染拡大、ならびに大規模なイベントの中止・延期・規模縮小を要請する政府の基本方針に鑑み、開催中止。



## 令和二年度 東京医科歯科大学解剖体追悼式

令和二年十月二十二日木曜日、午後一時より、築地本願寺において、東京医科歯科大学解剖体追悼式が行われました。今年度は、新型コロナウイルスの感染防止対策として学内関係者のみでの開催となりました。

秋晴れのもと、正門から臨む本堂は、その古代インド・アジア仏教様式を模した石造りの外観がいつそう輝かしく、また、本堂内部に仕上がえられた祭壇には、高さ三メートルあまりの「解剖献体者之霊」の標柱が置かれ、多くの花や果物が飾られました。そして、参列者席には限られた数の椅子が、十分な間隔を取って並べられました。

やがて、大学関係者、学生代表らが静かに入場し、最前列に腰掛けた学長の田中雄二郎先生が小さく手を合わせる様子が後方からも見え、まもなく、式の開始が告げられました。

はじめに、今年度に誓願成就された二六三柱（病理解剖・法医解剖含む）の氏名が読み上げられました。お名前の一つひとつが、お一人おひとりの生きた証であり、その響きに耳を傾けながら、かつてここにおられ、今は旅立ってしまった方々を偲びました。

全員で黙祷を献げた後、学長の田中雄二郎先生、ご来賓の歯科同窓会会長の浅野正樹先生からの追悼の辞に続いて、学生代表の神田航汰さんから、解剖学実習を通じて学ばせていただいたことへの感謝と今後も勉学に励む誓いの言葉が述べられました。

参列者全員が献花を終えた後、十三時五十分閉会となりました。続いて、本願寺のご厚意による法要が行われました。今年度は感染防止のため、雅楽は入らず、参加者は浄土真宗本願寺派の作法によるお焼香の後、副住職よりご法話をいただき、午後二時半過ぎに終了となりました。なお、会場を訪れることができない遺族などが多かったこ

とから、追悼式と法要の様子はインターネット上で同時配信されました。



追悼式式場の築地本願寺



学生代表による献花の様子



## 追悼の辞



東京医科歯科大学長 田中雄二郎

本日ここに、国立大学法人東京医科歯科大学解剖体追悼式を挙行するにあたり、解剖学・病理学並びに法医学解剖に、ご遺体を捧げてくださいました二六三名の方々に対し、謹んで哀悼の意を表すると共に深い感謝の念を捧げるものであります。

本来であれば、ご遺族及び献体の会の皆様には、この築地本願寺にて、直接ご挨拶を申し上げたいところですが、いまだに猛威を振るう新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度は学内関係者のみでの開催とし、本式典の様子はWEBにて配信させていただくことといたしました。

人体解剖学は、医学・歯学の次世代を担う医療人の育成に当たって誠に重要な意義を持つております。

解剖学実習では、学生はご遺体を通して人体の構造や機能の基礎を習得しつつ、初めて、死という逃れようのない生命の尊厳に直面します。これを機に、学生は「自分自身が快適に生きたい」という受動的・利己的な意識から、「自分以外の人が快適に生きるために」という能動的・献身的な思念に変わり、自分たちは「世のため人の為に医学・歯学の道で研鑽を積むのだ」と、医療人としての決意を新たに、学んでいくこととなります。

病理解剖では、担当の医療チームが現代医学の叡智を駆使し、全力を挙げて治療に臨んだにもかかわらず、功を奏さず、ご遺族の願いも虚しく、帰らぬ人となったご遺体を解剖させていただきました。ご遺体

より提供された病巣や臓器の精査と治療結果から知り得る新しい知見は、同じように悩む他の大勢の患者さんの治療あるいは発症予防に役立てることができる貴重な示唆を与えてくださいます。

また、法医学解剖は、黙して語らぬご遺体の死因を特定し、時には犯罪性の有無を明らかにして、社会の秩序の維持に役立つものであります。

このように、それぞれのご遺体は、それぞれの立場で医学・歯学の進歩に光明を投げかけて下さり、そして人間教育の上で、何ものにも変えがたいご教示をいただき、学生の蒙を啓いてくださいます。

医学・歯学の発展のためとはいえ、自らご遺体を献体される崇高純粋な精神、そしてご遺族の示される深いご理解とその寛容なお心に、

私どもは改めて深甚なる感謝と敬意を表し、また、心を新たにし、一意専心医学・歯学の教育・研究・診療に一層の精進を重ねることを、固く誓うものであります。

東京医科歯科大学は、菊薫る本日、ご遺族並びに献体の会会員の方々、そしてご来賓の方々とともに、ご遺体を賜りました故人の方々に偲び、ここに謹んで追悼の辞いたします。

令和二年十月二十二日



焼香の様子



## 追悼の辞



東京医科歯科大学歯科同窓会会長 浅野 正樹

本日ここに国立大学法人東京医科歯科大学の解剖体追悼式にあり、追悼の言葉を述べさせていただきます。

私たち医学・歯学を志した者は、その教育・研究・臨床に際して捧げられました故人に対して謹んで哀悼の意を表しますとともに、ご理解あるご遺族の方々に心よりお礼と感謝を申し上げます。

振り返ってみますと医学部同窓生・歯学部同窓生は東京医科歯科大学に入学して最初に感動と興奮を覚えるのが、解剖学の講義と実習でした。

その際に、教授をはじめ医局員の先生方より、懇々と解剖体の尊さにご遺族の方々の並々ならぬご理解があつてこそ、今ここに解剖実習にあたる事ができるといふことを、常に念頭に置くようにと諭されました。

日本に限らず世界の医学・医術の進歩発展は、解剖学なくしてあり得ません。

素晴らしい医学医療の技術は特にこの半世紀、大きな変革をもたらしました。

振り返って見ますと、過去にはエイズやエボラ出血熱、また現在では世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス、これらを始めとする重篤な感染症、或いは治療法の確立していない病のために、多くの人が痛みに耐え、そしてお亡くなりになっております。その解明にも、ご理解あるご家族のもと、献体が重要な役割を果たしているこ

とは申すまでもありません。

法歯学の面から見ますと、歯学には口腔解剖学がございしますが、この歯牙を中心とする口腔内組織の解剖学が、法医学におけるDNA鑑定などとともに身元不明人の割り出しや事件の解明に大きく役立っておりますことは、多くの方々の周知の事実であります。

一九八五年（昭和六十年）、群馬県御巢鷹山に日航ジャンボ機が墜落し、多くの尊い命が失われましたが、その時の遺体の身元確認作業に群馬県歯科医師会の会員が総出であつたことは良く知られているところですが、それを契機として全国的に「警察歯科医会」が結成され警察当局と連携し、色々な方面で活躍しています。

また、二〇一一年（平成二十三年）三月十一日の東日本大震災において多くの方が亡くなり、まだに行方不明の方々がいらっしゃる中、岩手、宮城、福島三県の歯科医師会の会員を中心として全国から歯科医師が集まり、解剖学で学んだ経験を活かし身元不明の方々の確認に奔走したのは記憶に新しいところでございます。

このように医学全般の教育・研究のみならず、解剖体とその御霊は多くの国民の方々に役立つとともに将来の人間の存在価値に関する身体・精神に崇高なる考えを浸透していくことと思われまふ。

今後、いかに科学の進歩発展がありましようとも、このような考えが基本にあるのが医学であり、医療に携わる者は常にこのことを肝に銘じて、努力をしなければなりません。

本日ここに、故人に対し心よりお悔やみ申し上げますとともに、ご遺族の方々、献体の会の会員の方々のご協力、さらに東京医科歯科大学のお心遣いに衷心より感謝申し上げます追悼の言葉とさせていただきます。

令和二年十月二十二日



## 追悼の言葉



東京医科歯科大学 学生代表

医学部医学科 第二学年 神田 航汰

まず初めに、ご献体をして下さった方々、ならびに、ご遺体を私たちに預けてくださいましたご遺族の皆様方に、東京医科歯科大学の学生を代表致しまして心から感謝申し上げます、故人の方々に對し謹んで哀悼の意を表します。

解剖実習で私たちは、医学を学ぶ者としても、一人の人間としても、非常に多くのことを学ばせて頂きました。

医学を学ぶ者としては、人体というものに対してこれ以上ないほど真剣に向き合う時間でした。今向き合っている人体という小宇宙。それを抱えて動いているのが自分であり、そして将来向き合うこととなる患者の方々である。そのようなことを感じる中で自分の目で確かめて体験した知識の数々には、図説や教科書を見ただけでは決して得られないものが宿っています。

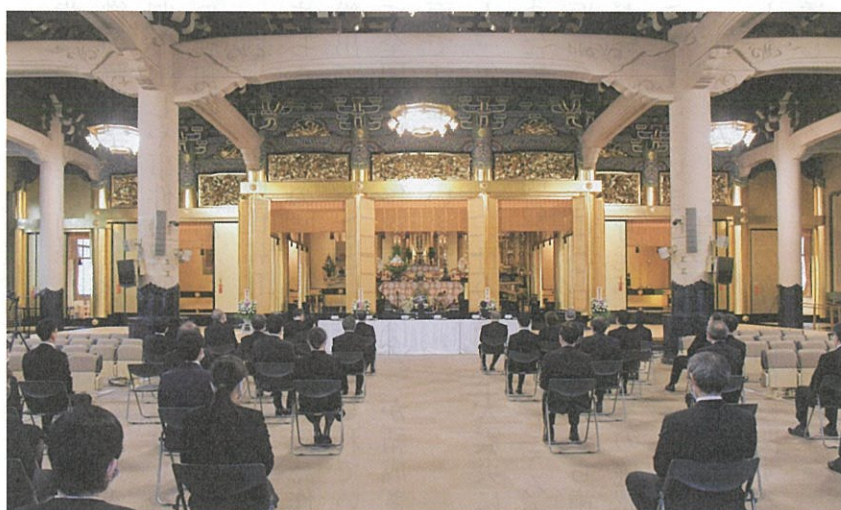
また、一人の人間としても命というものに向き合う貴重な機会を頂けたと思っています。ご遺体を前にして黙祷をするとき、実習を行っているとき、家に帰ってその日の体験を振り返るとき、常にご遺体をして下さった方の人生というものが私の頭をよぎっていました。若輩者でしかない私からすれば活字の上の出来事としてしか伺い知ることのできない歴史の数々。それらをその身に感じながら生きてこられた方のその帰結の一つとして今私が行っている解剖実習がある。そう考えたとき、私の中に浮かんだ思いは筆舌に尽くしがたいとしか表現のしようがありません。

医師・歯科医師として働くということは人の命と向き合うということです。誰かの人生を左右するような瞬間に立ち会うこともあれば、人の生死に関わることもあるかもしれません。そのような瞬間を迎えたとき、何を考え、何を為さなければいけないのか。勉強においても人としての涵養においても今の私は準備不足です。ですが、この解剖実習で自分の中に生まれたものが原点となっていくことは疑いありません。

改めましてそのような機会を頂きましたことに心から感謝申し上げます。

最後になりましたが、ご献体をして下さった故人の皆様を偲ぶとともに、ご遺族の皆様のご健勝を心からお念じ申し上げます。追悼の言葉といたします。

令和二年十月二十二日



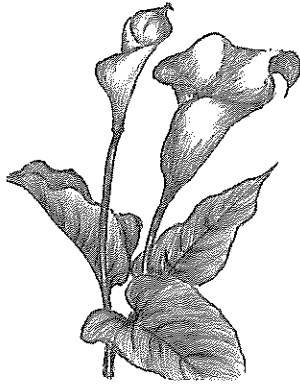
法要の様子



《篤志解剖全国連合会関係行事》

篤志解剖全国連合会  
第四十四回団体部会・大学部会合同研修会、第五十回総会

新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大、ならびに大規模なイベントの中止・延期・規模縮小を要請する政府の基本方針に鑑み、開催中止。



《会員寄稿》

【随筆】

カルタを作ってみました

1304 中村 和子

新型コロナウイルスが世界中を荒しまわっています。二〇二〇年六月の現在も、未だ終りが見えていません。

けれど、次々と生まれる新しいカタカナ語も、おぼえたり忘れたりしながら、ステイホーム生活をしている私ですが、思いついて「アイウエオ」順にまとめてみました。

㊦朝日を浴びて「ラジオ体操一、二、三」。今年五月から近くの湘南辻堂海岸で、有志が始めた「体操会」に参加しています。しっかりと「三密」を回避して頑張っています。

㊧いつまでも歯を大切にして元気に過ごしましょう。  
㊨歌を唄いましょう。なつかしい唱歌の歌集を買いました。独唱会、歌手もお客も我れひとり。

㊩笑顔美人を目指しましょう。にっこり笑って「きょうもハッピー」です。

㊪大きなお口、しっかり開けて「パ・タ・カ・ラ」発声元気よく、毎日続けましょう。

㊫噛むときは、ひと口三十回を目標に、ゆっくり噛んで、楽しくお食事しよう。

㊬今日も頑張ったね。と自分をほめてあげましょう。和子さん、ありがとうね。



㊦口をしっかりと動かして顔全体で、「アイウエオ」を、口で書いてみよう。

㊧健康管理は、毎朝の血圧と体温測定を忘れないようにしましょう。

㊨コンビニは本当に便利だね。新しい発見もあるし、健康管理の本も売ってました。

㊩裁縫箱から、ある日、針や糸たちが、ゴムひもにつかまってガヤガヤと出てきました。マスクに変身したいようです。

㊪静かな夜は、好きなCDを聴きたい。

㊫水分は、必ずしっかりと飲みましょう。

㊬石けんと水でしっかりと丁寧に、手洗い守る毎日です。

㊭ソロバンはじいて十萬円の使い道、ゆつくりと分けてみました。

㊮たいくつなど、してるヒマない忙しい老いの日々です。

㊯近くの花屋さんで、夏のお花を見に行きましょう。

㊰つるがのびてきた夕顔の苗買いました。

㊱電話してあげようあの友に。

㊲遠くの家族に近況を伝え合おう。

㊳泣きたいときは、空を見あげて、流れる雲を見てみよう。

㊴「虹がでているよ」友より電話。ありがとう見られましたよ。

㊵温もりがほしい夜もあったあの懐かしい愛しい日々・・・。

㊶「ねむりひめ」の如くなりました。最近のワタシ・・・「エッ、何かおっしゃいました?」

㊷のんびりと我が家でひとり飲み女子会も、いいもんよ。

㊸「母の日」は、近頃は自分で買います。

㊹「人途絶え カラスステイホーム 街静か ろう城決めて クイ

ズ楽しむ」和子

㊺富士山も夏姿に衣替えしました。

㊻ヘルパーの友にエール送りました。本当に元気で頑張ってほしいです。

㊼本や新聞を読んで、気に入った文章は音読しています。

㊽毎日、何でも一行でも書こうと思う。

㊾皆で頑張ろう。コロナ終息の日が早くくるように祈りましょう。

㊿無理せずに、困った時は「助けてほしい」とお願いしよう。

㊰面倒くさい、とつい思う自分がいる。

㊱モチベーションが乏しくなってきた。

㊲やみくもに走っていた日が懐かしい。

㊳ゆるんだ骨盤底筋は体操して直そう。一二五歳まで「ノー・失禁」で過ごしたいから。

㊴呼ばれるまでは、答えません。ヨタへ口期は喜んで迎えますよ。

㊵来年はいい年となりますように!

㊶リングは「医者いらず」との事です。

㊷ルージュという響きは、口紅より大人っぽく聞こえた日もありました。

㊸レジ袋は七月から有料になりました。

㊹老人ホーム(有料)見学してきました。

㊺忘れっぽくなりました。とにかく今の、このコロナのことは書いておきたい。大切なこと、家族に残す文章は、このあと、残しておきたいと思っています。

以上



## 健体を献体 （新型コロナに罹らない）

3941 吉本 亮三

「三月二十三日に予定されていた立教セカンドステージ大学修了式が今般の新型コロナウイルス感染症予防対策の中で中止になることが決定いたしました。吉本さんには受講生代表として壇上で学長より修了証書を受け取って頂く役目をお願いしておりましたがその機会がなくなってしまい、大変申し訳なく思っております」との連絡。修了証書と履修証明書は郵送されてきた。そして四月以降も図書館やメディアセンターを利用すべく科目聴講生の受講手続きをしたが中止となってしまった。

その他受講手続きをした埼玉未来大学、富士見市民大学も中止。さらに研鑽を重ねてきた第七回朗読発表会も中止通知を前回参加者一三〇余人にしなければならなくなったのは辛かったし、十年以上続けているオカリナ練習、その成果をお聴きいただく福祉施設訪問演奏も中止。毎日のスケジュールに組み込んでいたラジオ体操会、ご当地体操の指導者役も三密対策で中断だ。駅前スポーツジムも休業、月一回のゴルフコンペも休止。年度初め恒例の「献体の会総会」を始め各種集会はすべて中止でスケジュール帳から抹消、電車に乗る機会は殆どゼロとなった。

継続できたのは朝のNHKラジオ体操と一万歩ウォーク。ステイホーム中の一万歩は相当意識しないと不可能である。従前はウォーキングタイムは設けず日常の生活の中に一駅先とか、遠回りのルート選定とかでカバーできた。自宅を基点に郊外に残っている雑木林や耕作地等の田舎道に四コース設定し、開花期間の長かった桜や、萌え出る新緑を愛でながらゆっくりと一万歩を続けたが、トータルでは運動不

足のコロナ太り・・・この歩数と、毎朝の血圧・体温の記録が続いている。

今般のコロナ禍の中で高齢者の位置づけでトリアージが気になった。コロナ感染症で症状が出るのは二割、重症化しやすいのは①喫煙②高齢③男性④基礎疾患⑤肥満と、されている。

感染者急増の三月末、医師・弁護士等の専門家グループが「緊急度に応じた治療の順位などを決める災害医療でのトリアージの概念が適用されうる。これまで経験したことのない、厳しい倫理的判断求められる」との提言をまとめた。いくつかの事例が報道されている。

「誰を死なせ誰を生かすか」感染拡大中のイタリア・スペインでは事実上の医療崩壊が起きた。「命の選択」を迫られている対応が「年齢制限」である。人的・物的に限られた医療資源を最大限に活用するため、回復する可能性が高い患者の治療が優先され「命の選択」を迫られる現場の医師の判断を支える倫理指針に「最終的には年齢制限を設定する必要がある。」としている。

スペインでは父親入院先の医師より電話で告げられた。「死なせることを許してほしい。七十五歳以上の高齢者は治療できない。人工呼吸器はつけられない。若い患者に回さないといけないから」と。

大竹しのぶエッセイ「まあいいか」マドリッド医師のSNS訴え「今から私たちは六十五歳以上の患者さんの人工呼吸器を外さなくてはなりません。死を待つのみになるのです。残酷すぎます」と。

また安楽死が法律で認められたオランダで、高齢者に非情通告、医師から「感染しても病院で治療できない」感染拡大時の医療崩壊を避けるため、救命対象基準を八十歳から七十五歳に引き下げ。「自分の年齢を考えた時、集中治療室に入ったとしても生き残れるとは考えられない。だから、最後まで自分の意思で人生を決められるように安楽死を選びたい」「自分で選んだ死に方ができない方が、コロナに感染



するよりことよりも怖い」「感染時、自分の意思で希望どおり死ぬにはどうしたらよいか」との問い合わせが多い。

献体の会家族へのお願い ※注意事項で「重症の感染症の場合も献体をお受けできない場合もあります」と規定している。

「健体を献体する」ことを命題としているので新型コロナに罹るわけにはいかない。

が、解剖体も若い方が・・・とお怖い！



絵：衣笠紀子

吉本 亮三

### 「両親にならって」

4954 内田 典子

私が献体の会に入会したのは両親の影響です。

両親は大正生まれの戦争体験者。生前父は、戦死した戦友に申し訳ない。自分が死んだ後にでも何か役に立つ事は出来ないだろうかと献体の会を知り入会させていただきました。

そんな父も平成二十二年に亡くなりました。少しはお役に立てたでしょうか？

また、母も五年後の平成二十七年に亡くなり同じく献体させていただきました。

私も六十五歳、両親の元に行くにはまだ少し早いと思いますが、献体を一人でも多くの方に理解していただき、会員になってくださる方が増えますようお願いしております。

最後になりましたが、静寂の中で行われた遺骨返還式、築地本願寺での合同慰霊祭、ありがとうございました。





## 癌転移

5184 長谷 久枝

三年半程前に乳癌の手術を受けました。手術の後、再発や転移の予防が期待できるので、放射線治療を受け、それからホルモン剤治療を受けることを勧められました。

ところが、昨年九月に肝転移が見つかりました。肝転移を告げられた時は、思考停止の状態となり、主治医に何を聞けばよいのかさえわかりませんでした。

パソコン画面で見せられたCT画像には、まるでシャボン玉のようなフワフワした白い固まりが、いくつもいくつも浮かんでいました。

たくさんの癌が出来ているので手術はできません。抗癌剤の投与によって、癌を小さくしてゆく治療になります。などと主治医は説明してくれていましたが、私はおそらく話の半分くらいしか理解できていなかったように思います。

しかし、良い主治医に恵まれておりましたので、丁寧に説明しながら、A4の用紙に、これから使おうと考えている抗癌剤のこと、それで効果が表われなければ、次には別の抗癌剤が使えることなどを、手書きで、それぞれの抗癌剤の名前や、おおよその効果、副作用なども時間をかけて説明して下さいました。

翌週から、手術前抗癌剤治療以来四年目にして、再び抗癌剤投与のための通院が始まりました。

四年程も前の術前抗癌剤治療の折にお世話になった数人の看護婦さんが、私のことを覚えていて下さって、「思いがけない再会ですね。」と声をかけて下さいました。

その度に「個々の看護婦さんたちには、前回お世話になった時、本当に優しく親切にしていたので、お会いできるのは心から嬉し

いのですけれど、でも、本当はここには来たくありませんでした」と言う、「そうよね、そうよね」と優しく背中をなでて下さる方や、「もう来なくて済むように、一緒にがんばりましょう」とおっしゃって下さる方など、皆様がとても暖かく迎えて下さいました。

中には、前回の抗癌剤は投与中、とても眠くなる薬剤でしたので、私は投与の間ぐっすり眠り込んでいました。それを覚えていて下さって「あの頃、あまりよく眠っていらしたから、お帰りは大丈夫かしらって心配していましたよ」とおっしゃる方もいました。

そして再びの抗癌剤治療が始まりましたが、看護師さんたちの優しさに支えられながら、毎週の通院となりました。

ところが、わずか半年後のCT検査で、肝臓の中にこれまでとは別の種類の癌が出来ていることがわかりました。

今回の癌の画像はこれまで白くふわふわしたものとは異なり、黒くどっしりとした存在感のあるものでした。

その画像を見た途端、再び私の思考は停止して、今度こそ主治医に全く質問などすることはできず、ただ画面上の黒い固まりをみつめていました。

幸い付き添ってくれた妹が、幾つか質問をし、主治医は前回と同様に手書きで抗癌剤を変えなければならないことなどを書いて下さいました。

重い心で家に帰り、それでも食事をし、入浴して、その日は終わりました。

二、三日は何も考えられませんでした。自分の身の内に起こったことを、何も知らないでは済まされなれないと思ひ直し、主治医の手書きのメモを見ながら、そして思考停止状態であった頭の中にわずかに残っていた、主治医の言葉と妹の言葉をわずかず思ひ出しながら、次回診察日に主治医に聞かなければならないことを、一つずつ一つずつメモに書き出してゆきました。



ちょうどその頃、古くからの友人が電話をくれました。転移の話をする。「今度の診察の時には、気持をしっかりと持って、知りたいこと、わからないことは全部聞いてね」と励まされました。

更にその数日後には、十歳程年長の友人が電話をかけてくれました。彼女はもう十四、五年前から肺の感染症を患っていて「病気がわかってから後の人生は、おまけみたいなものだと思いますよ。最後を迎える覚悟はできているつもりです。でもね、年齢を考えたら、あなたが私より先に逝くのは絶対によい言葉に支えられて、

家族や友人、主治医や看護婦さんたちの励ましの言葉に支えられて、抗癌剤の副作用に耐えながら、今日も暮らしています。

元気に歩きまわっていた日々を訪れた場所、一緒に行った友人たちや家族の笑顔を思い出しながら、たくさん楽しかった思い出を持つことのできた幸せを、しみじみ感じます。

これからも日々の暮らしの中で、ささやかでも楽しみ喜びを見つけながら、毎日を大切に、丁寧に生きてゆきたいと思っています。



## 健康保持に向けて——十二のS——

5532 佐藤 典衛

### ■我が養生三訓

私は、一九四〇年二月生まれ、目下、傘寿の身である。五年前、後期高齢者となり、献体登録をした頃から特に意識してきた養生訓ともいうべき諫言が、私にはある。それは「健康は自己責任である」「老化は自然現象である」そして「人間は必ず死ぬものである」という三訓である。

人間は、歳をとり早晚必ず死ぬ。老化は必然であり、これは医療の力で改善できるものではなからう（最近、一部に、人工知能で遺伝子組み換えを行うことにより病気も老化も克服できるといふ報道もあるがにわかには信じ難い）。高齢者は、可能な限り老化に抗しつつもこれは自然現象であると観念してうまく付き合っていきたいものである。また、人の死についていえば、その死の方にはいろいろあるが、多くの人はできるだけ長生きしてぼっくり死にたいと願っているに違いない。朝起きたら死んでいた、そんな理想的な死に方を望んでいるが、私などは、若かりし頃の不摂生がたたり寝たきりになるかもしれない。その場合にあつては、延命措置は御免である。できれば現在わが国では認められていないものの、早期に積極的安楽死を、と望んでいる。

ところで、世の多くの人が、人生で一番大切にしたいものは「健康である」と答えているように、健康は快適な生活を送るための基本的条件であることは言うまでもない。しかし、その健康はどこからかやって来るものではなく、自ら作り守っていくものであり、勝ち取るものである。その意味で健康の維持確保は自己責任であるということである。以下、私の描いている健康心得である。



## ■十二のS

現在、世には健康に関する情報が飛び交い、この類の情報はまさに玉石混交である。こうした情報の渦の中でその適否を見極め、自分なりの健康観を持つことが何より大切であると思う。健康だ、やれ健康だ、とジタバタする積りはないが、ここで、健康保持に関する取り組みとして一般に言われている事柄を集約・整理し、私が日常生活の中でできるだけ実践しようと思っ掛けている健康法、名付けて「十二のS」を披露したいと思う。

それには「減らすべき六ツのS」と「増やすべき六ツのS」がある。正確には、べきと言いつつ切れない面もあるが、わかりやすくこのように表現したものであり、また、Sはその十二の事柄すべて頭文字にSがついていることから付したものである。その

\*「減らすべき六ツのS」は——食事の四S「塩・砂糖・酒・脂肪」と

スの二S「スモーキング・ストレス」

\*「増やすべき六ツのS」は——行動の四S「趣味・睡眠・仕事・社会参加」と

スの二S「スポーツ・スマイル」

以上の十二である。

断っておくが、この区分は、一般に言われている健康確保の心得を、単なる思い付きで、分類・仕分けしたものであり論理性があるわけではない。従って、異論があることを承知のうえで、安直な健康保持に向けての私の指針として唱えているものである。

先日、市民を対象にした公開講座で「暮らしに役立つ医療情報」と題して話をする機会があったので、これを取り上げたところ、参加者から「もう仕事はしていないので仕事を増やせない」とか「スポーツができる環境がない」などという発言があった。それに対しては、ここでいう仕事とは、家事などを含むものであること、また、スポーツ

には軽易なストレッチやウォーキングなどもあることをお話し、理解いただいた。さらに、睡眠は取り過ぎない方がいいのでは、適度の酒は百薬の長では、また、ストレスはなくせないのも耐性を付けた方がいいのでは、などという意見もあった。それはその通りであろうが、そう頑なに捉えず、それぞれのSを可能な限り適切に消化していただきたいと考えている。

## ■養生三訓を糧として

繰り返しになるが、この「十二のS」は、健康保持のため私が特に心掛けていて一種のアイデンティティである。私自身、怠け癖がある終期(?)高齢者の身で、このすべてを効果的になし得るとは思っていない。また、これだけでいいとも思っていない。健康保持にはこうした動的な行為だけでなく心の安らぎが必要なことは言うまでもない。我が敬愛する作家、五木寛之氏は、「健康とは生き方の問題であり、魂の問題である。」といい、「なるだけ医者に頼らずに生きるために私実践している一〇〇の習慣」と題する箴言集で、幅広く五木流の健康法を紹介している。その中にはホントかな、と思われるような記述もあるが、氏特有の考え方、生き様を垣間見ることができて興味深い。世界は今、未知のウイルス禍の渦中にあり、一般に、高齢者はその感染リスクが高いと言われているが、これに抗すべく自己防衛に努め、これからも前記した三訓とりわけ「十二のS」を確たる養生訓として生き、そして、介護の世話にならずに逝き、若き医学徒の解剖のお役に立ちたいと願っている。





## 献体に関する私の意見

6173 松本 麻理子

献体を考えるきっかけのひとつに「日本を、取り戻す。」という言葉がある。取り戻したい日本とは、なんのこたなかわからなかった。

「教育勅語」をたいせつに考えたり、「新しい憲法」の草稿が欽定憲法に似ていて、驚いた。明治なんて特殊な時代だろう、第一次世界大戦前の日本なんでもっと特殊な一時期だろう、と思ったところで「はっ！」と気づいた。

私が生まれ育った昭和後半だって、経済が大きく変化した特殊な時期、平成だってインターネットが登場しグローバル化が加速した特殊な時期だろう。

ところで、日本とはなんだろう。そして、自分のナショナルアイデンティティをあらためて考えるようになった。日本に生まれ育ち、日本人の両親の下、日本語を母語として生きてきた。

「私とは、なんだろう」両親から生を受けたことは（ほぼ）間違いないが、彼らだって私を「選んだ」訳ではない。むかしむかし、アフリカからやって来たのが先祖なのは確実だが、大陸系、半島系、土着系そんなことはどうでも、いい。外国旅行中ではなく新宿で中国語で話しかけられたことがある。東京生まれだが「出身は北海道？沖繩？」と訊かれたことがある。

私の身体は「私のもの」なんて言いきれない。長い人類、いや生物の歴史の一部にすぎない。

燃やしてしまうくらいなら、なにかの役に立った方がいい。一人の学生が人体を解剖するのは、医学全体、学術すべての発展につながる。志高い、いい医師になるような方が解剖してくれると、うれしい。

## 【詩】

親孝行ができないなら

お星さまになってしまった親には

もう孝行ができないので子孝行をすることにした

子どもに迷惑を掛けないためには

何よりも自分が健康であることだ

毎日階段を上り下りし息切れしない体力を作る

一段飛ばしなら八十段も半分だから二分もかからない

ハイキングにも毎月参加し足腰の衰えを防ぐ

不調でドタキャンなどしないよう日々一万歩を目指す

起床したらラジオ体操のメロディに合わせ

スクワットや踵歩きなど自己流メニューをこなす

加えて経済的に自立する

突然の入院やまさかの病気に備え

自由に使えるお金を用意しておく

保険より心強いのはキャッシュだそうだから

更に精神的自立も極めて重要だ

子ども達と毎日連絡を取り合うが依存はしない

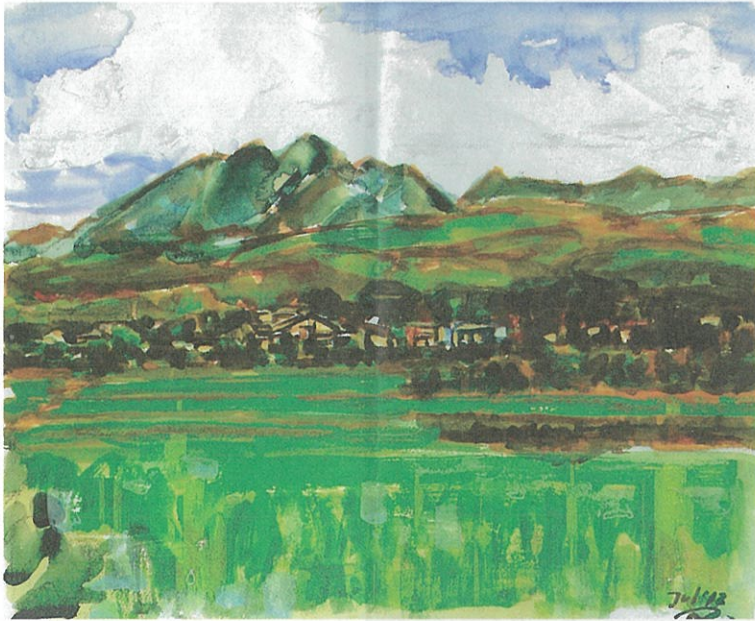
頼りにはするが寄り掛からない

脳も衰えないように読み書きを欠かさない

読むだけでなく自分の頭で考えペンを走らせる

6085 床嶋 まち

偉そうなことを書いてしまったけれど  
先日突然痛みに襲われただ今格闘中！



絵：平櫛亮三

【短歌】

4963 津田 典男

桜花咲きて 松の緑とまじりあい 我れ 住みなれし 里の錦か  
砂金湧く いでゆの縁に 頭のせ 今太閤の 気分味わう  
満開の 桜並木の ほんぼりの おぼろの月に 和すかに ゆらゆ  
ら

墨画展 回を重ねて 五十回 作家老ゆれど 絵に力あり  
野に山に 桜花咲き 匂う古戦場 武士共の 魂慰めんと

【俳句】

988 真柄 百合子

木の芽和と己れの殻に閉ぢこもり  
虚栄心捨ててに來し里花馬酔木  
疫病は神の悪戯杏散る  
小気味よき女の話藪椿  
花楓動悸静める時仰ぐ

【俳句】

50095 山口 みどり

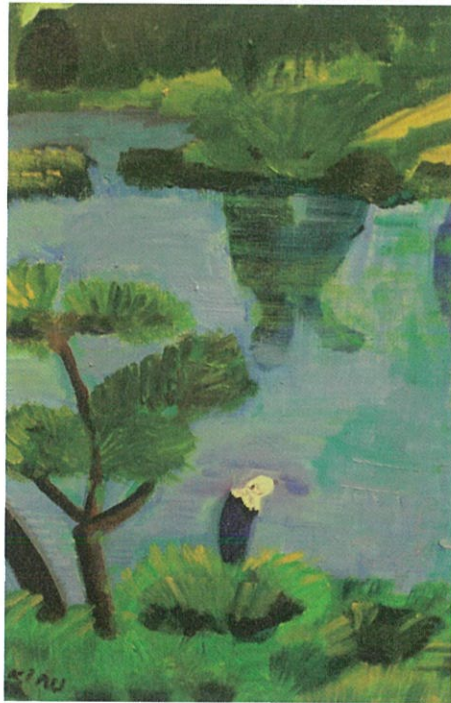
木の芽時 アンバランスな 恋してた  
親友の 苗字が変わって 新学期  
花に舞う 青虫の姉 夏の蝶  
ガーナ人 観光地で着る ちゃんちゃんこ  
水鳥を 丸裸にして 防寒着



【俳句】

幼子の 母の背を見て 慈くしむ  
 幼子の 母の背を見て 温情

6067 國廣 慶子



絵：衣笠紀子

「日本式茶室」の趣は其のこころを  
 朝から暮まで感じたい」



クロスワードパズル ヒントヨコ1のカギ

【四角】

4066 新田 典民

「解剖学」の発展は、人の死を前提として、  
 死体を解剖することから始まった。その  
 目的は、死体の構造を明らかにし、  
 人間の健康と病気の原因を究明する  
 ことにあった。その目的は、人間の健康  
 と病気の原因を究明することにある。

「解剖学」の発展は、人の死を前提として、  
 死体を解剖することから始まった。その  
 目的は、死体の構造を明らかにし、  
 人間の健康と病気の原因を究明する  
 ことにあった。その目的は、人間の健康  
 と病気の原因を究明することにある。

けんたい クロスワードパズル

二重ワクで囲まれた文字を並べてできる言葉を教えてください。

crossword puzzle grid with numbered squares 1-22 and letters A-H.

解答欄

answer grid with columns A through H.

18-1 column of clues for the crossword puzzle.

三〇〇のカギ

20-19 column of clues for the crossword puzzle.

タテのカギ



## 《東京医科歯科大学献体の会会則》

### (名称・事務所)

第一条 この会は、東京医科歯科大学献体の会（以下「本会」といふ。）と称する。

第二条 本会の事務所は、東京医科歯科大学医学部に置く。

### (目的・事業)

第三条 本会は、会員相互の親睦を図るとともに、医学及び歯学の発展と人類の福祉に貢献するために、会員の遺体を無条件、無報酬で東京医科歯科大学に寄贈することを目的とする。

第四条 本会は前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 篤志献体に関する広報活動
- (2) 親睦会の開催
- (3) 講演会及び集会の開催
- (4) 会報の発行
- (5) 献体者の慰霊
- (6) その他本会の目的達成のため役員会において適当と認めたる事項

### (会員)

第五条 本会の会員は、第三条の目的に賛同し献体登録した者とする。ただし、この趣旨に反すること、又は本会の品位を著しく傷つける行為のあるときは、役員会において役員の三分の二以上の議決により、会員の登録を取り消すこともある。

第六条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長
- (2) 副会長 二名
- (3) 理事 若干名

### (4) 監事 二名

2. 理事となる者は、役員会で選考し、総会の承認を得る。
3. 理事の任期は、二年とする。ただし、再任を妨げない。
4. 会長及び副会長は、理事の互選とする。
5. 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
6. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるときは、その職務を代行する。
7. 理事は、役員会を構成し、会務を遂行する。
8. 監事は会計を監査するほか、役員会に出席して意見を述べることが出来る。

### (会議)

第七条 本会の会議は、総会及び役員会とする。

2. 総会は年一回開会し、会長がこれを招集し、その議長となる。

3. 総会においては、次の事項を審議する。

- (1) 会の運営及び事業に関する事項
- (2) 理事の承認
- (3) その他の事項

第八条 役員会は、会長が必要と認めるとき随時開催し、次の事項について審議する。

- (1) 会の運営及び事業計画
- (2) 収支予算に関する事項
- (3) 会の決算及び事業報告
- (4) その他会長が必要と認めたる事項

2. 役員会の議事は、出席者の過半数をもって議決する。

### (顧問及び相談役)

第九条 本会に、顧問及び相談役を若干名置くことができる。

2. 顧問及び相談役は、学識経験者、理事退任者の中から理事会に諮り会長が委嘱し、必要に応じ理事会に出席し意見を述べる。

(会計)

第十条 本会の経費は、補助金、寄付金等をもってこれに当てる。

2. 会の会計年度は、四月一日から翌年の三月三十一日までとする。

(その他)

第十一条 本会則の改正は、総会の議を経て定める。

附 則

この会則は昭和五十九年四月二十一日から施行実施する。

この会則は昭和六十二年四月十八日一部改正実施する。

この会則は平成十四年四月一日より改正実施する。

## 《東京医科歯科大学献体の役員》

会 長	八一〇	佐 藤 達 夫
副会長	二八四四	兵 頭 作 一
副会長	二二七二	星 野 君 枝
理 事	九二二	宮 内 美 栄 子
理 事	二七四二	片 野 尚 子
理 事	四五四六	橋 本 保 子
理 事	四五六二	飯 田 静 夫
理 事	四七八五	磯 秀 夫

※葉書にて献体の会会員の皆様方の賛同を得ましたので、第一六五回献体の会理事會にて新理事の選考を行う予定でしたが、新型コロナウイルス蔓延の影響を受けまして、令和二年十二月現在、理事の選考が出来ておりません。記載の役員選考は暫定的とさせていただきます。

## 《東京医科歯科大学からのお知らせ》

◎住所変更等の連絡のお願い

住所、氏名、電話番号、ご家族の連絡先等が変更になった方はできるだけ早く献体事務室まで、お電話または文書等によりご連絡お願いいたします。

会員ご本人が遠方へ住所を移される場合には、献体登録を住所地の近くの大学にご紹介する場合がございます。大学からの距離が非常に遠い場合にはお引き取りできない場合がございます。また、お亡くなりになった後に他の大学にご紹介することは、非常に難しいので、住所を移される場合には献体事務室にご相談いただきたいと思います。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

◎献体手帳について

二〇二一年「献体手帳」をご希望の方は次の要領でお申し込みくださいますよう、よろしくお願い致します。

「献体手帳の申し込み方法」

お名前・会員番号をご明記の上、送料として九四円分の切手を同封の上、郵便にてお申し込み下さい。お申し込みは、お一人様一冊とさせていただきます。

なお、ご家族で会員の方が一緒に申し込まれる場合、二冊分の送料は一四〇円となります。三冊以上の方は事務室へお問い合わせ下さい。

申込先

〒一一三―八五一九 東京都文京区湯島一―五―四五

「東京医科歯科大学献体の会」事務室

電話 ○三―五八〇三―五一四七



## 《会員の「ご家族へ」のお願い》

会員の方が亡くなられた時は、次の順序でご連絡と打ち合わせをお願い致します。

## 一、大学への電話連絡

◎平日 午前八：三〇～午後五：〇〇

①東京医科歯科大学献体事務局(直通) 〇三・五八〇三・五一四七

②東京医科歯科大学(代表) 〇三・三八二三・六一一

平日の勤務時間内出来るだけの対応を致しておりますが、直接献体事務局に連絡をいただいた時、学内に出かけている場合がございます。その時には大学(代表)の電話交換手にその旨をお伝え下さい、こちらから再度ご連絡申し上げますので、ご遺族代表者の連絡先及び亡くなられた方の会員番号・氏名・死亡日時をお知らせ下さい。よろしくお願い申し上げます。

◎夜間・土曜・日曜・祝祭日・年末年始

東京医科歯科大学(代表) 〇三・三八二三・六一一

夜間、土曜、日曜、祝祭日、年末年始などの場合は、大学の電話交換手にその旨をお伝え下さい、担当者の携帯電話に連絡がつく状態になっております。その際、亡くなられた方の会員番号・氏名・死亡日時・連絡先・連絡者を必ずお知らせ下さい。担当者が学外におります場合には、東京医科歯科大学献体の会の会員であることをすぐには確認できませんので、ご連絡の前に会員であることを再度ご確認頂きますようお願い申し上げます。なお、迅速に対応できるような態勢をとってはおりますが、諸事情(電波受信の状態が悪いところにいる場合など)により担当者からの連絡が遅れる場合がございます。大学から、担当者へは連絡がつくまで対応いたしておりますので、ご容赦願います。

## 二、大学担当者との打ち合わせ

ご遺族の代表者は次のことを担当者として打ち合わせて下さい。

①大学がご遺体をお迎えにあがる日時

②大学がご遺体をお迎えにあがる場所(住所・電話番号)

③お棺持参の要否

④ご遺族代表者の氏名、住所、電話番号

⑤「解剖に関する遺族の承諾書」等の書類は、担当者が後日お送り致しますので、ご記入、ご捺印をお願い致します。

⑥その他：お通夜、告別式をなさる場合にはその日時・場所をお知らせ下さい。なお、ご遺体の移送は大学がお引き受けし、寝台自動車でお迎えに上がります。

## 三、ご家族に用意していただく書類

○ご遺体移送のときに必要な書類

死亡診断書の写し 一通

・死亡診断書の写しをご用意下さい。ご遺体を寝台自動車で移送するときに必要になります。

○後日、郵送していただく書類

埋葬・火葬許可証 一通

・埋葬・火葬許可証は担当医師の死亡診断書を添え「死亡届」を市区町村へ提出すると交付されます。

・なお、火葬予定場所には「渋谷区代々幡斎場」とご記入下さい。

## ※注意事項

次のような場合、献体をお断りすることがありますので、ご了承下さい。

①事故で亡くなられた場合(交通事故死、水死、焼死、災害死など)

- ② 死亡後、時間が経過し発見が遅れた場合
  - ③ 病理解剖や法医解剖によりご遺体にメスが入った場合
  - ④ 旅行中など、大学から非常に遠い場所へ転居され、住所変更のご連絡がないまま転居先で亡くなられた場合
  - ⑤ 死亡後、臓器提供をされた場合
  - ⑥ 死亡後、重症感染症の場合も献体をお受けできないことがあります
- なお、担当者のご相談ください。

## 《会報製作にあたって》

### ◎写真の説明

アカシアの茂みに行くマサイキリン

撮影 東京医科歯科大学医学部卒  
北島クリニック院長 北島潤一郎

診療の合間を縫って世界の各地を旅し、風景や動物、星空の撮影をしています。この写真はケニアのアンボセリ国立公園で撮影したものです。アンボセリ国立公園はアフリカ大陸の最高峰キリマンジャロの裾野に広がっており、面積は三百九十二km<sup>2</sup>(東京二十三区の約三分の二)、標高は千二百m前後です。ゾウやキリン、カバなど多数の野生動物が生息しています。

国立公園のゲートに向かう道路の近くで、二頭のキリンと出会いました。車を止めてカメラを向けた私たちに一瞥を投げ、そのままアカシアの灌木が茂る中を悠然と進んで行きました。

ケニアを含む東アフリカは、現生人類発祥の地と言われています。我々の祖先がアフリカにいた頃は、動物たちとの間は現在と比べものにならないくらい近かったでしょう。ケニアを旅し、数キロ先にいる動物を見分け近づくという体験を毎日繰り返し、遠方の動物を見分ける識別力が良くなっていきました。アフリカを去る日はとても寂しく、遺伝子の中に眠っていた記憶が呼び覚まされたのでしょうか、アフリカを訪れたのは初めてなのに、この地がとても懐かしい場所だと感じました。

コロナ禍の中、国境を越えて旅することは夢のまた夢となっています。人類がこの困難を克服し、何のためらいもなく諸外国との行き来ができる日が来ることを願います。



◎編集後記

特別な一年を締めくくる会報は大自然を往くキリン親子の表紙でお届けします。前を走るの、おきやんな「青空娘」でしょうか。映画「青空娘」といえば、原作・源氏鶏太、主演・若尾文子、公開は昭和三十二年とあります。ゲンジケイタの名前に聞き覚えがあり、実家の母に電話すると、「懐かしい。はやっていたのよ。お母さん、本もたくさん読んだわ、みんな忘れちゃったけど。映画は見たかなあ、『嵐を呼ぶ男』と同じ年？それは見たわよ。石原裕次郎がドラマをたたくシーンが格好よくってねえ。」

いやいや、「青空娘」というのは、伊豆で祖母に育てられた主人公（若尾）が訳あって東京の父に引き取られ、義理の母（沢村貞子）や兄弟から女中扱いされながらも、持ち前の明るさで味方（ミヤコ蝶々）を増やし、素敵な婚約者（川崎敬三）を得て、実の母を探し出そうというお話です。再び上京を決意した主人公は、海に面した崖の上から青空に向かって叫びます。おかあさあーん。

自分のことを慈しんで愛しいと思ってくれる人がどこかにいる、その人に会いたい、そして、私を抱きしめて私の名前を呼んでほしい、主人公の思いは、誰にも通じるものでありましょう。名前は私そのものであり、いつか旅立った後も、私がここにいた証となってくれます。いつかその時のことを深く考えてこられた献体の会会員の皆様の思いを受け止めているのがこの会報です。どうぞ、ご覧ください。

さて、先ほどの青空娘。ついに実母との再会を果たします。かつて「東京にも青空があるのかしら」と不安げだった娘も強くなりました。「誰の頭の上にも青空がある」と勇気づけてくれた恩師、「僕が君の青空になる」と励ます婚約者。皆様、私たちも、明るい青空娘、青空兄貴の心意気でまいりましょう。ぜひ、あらためて表紙から楽しんでいただけたらと存じます。

(片野尚子)

献体の会会報編集委員

- 五一八四 長谷久枝
- 五二三九 岡本祐子
- 五四八二 広田順子

連絡先	
発行	東京医科歯科大学献体の会
〒	一一三三八五一九 東京都文京区湯島一―五―四五
電話	〇三(五八〇三) 五一四七
FAX	〇三(五八〇三) 〇一一六
印刷所	小宮山印刷工業株式会社
〒	一六二―〇八〇八 東京都新宿区天神町七八
電話	〇三―三三六〇―五二一一